

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

岐阜県 土岐市

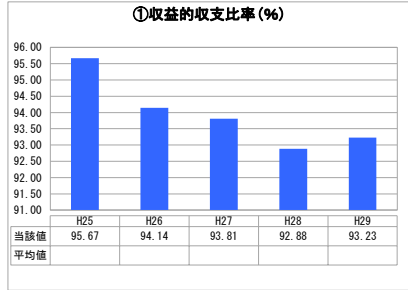
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	84.11	73.66	3,240

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
59,026	116.02	508.76
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
49,402	17.77	2,780.08

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



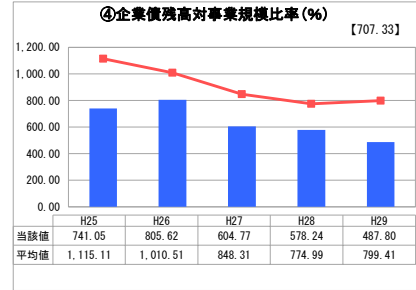
「単年度の収支」



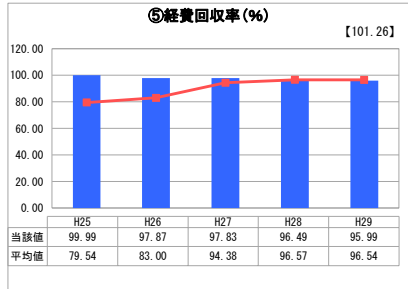
「累積欠損」



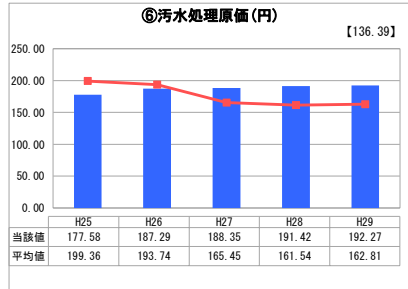
「支払能力」



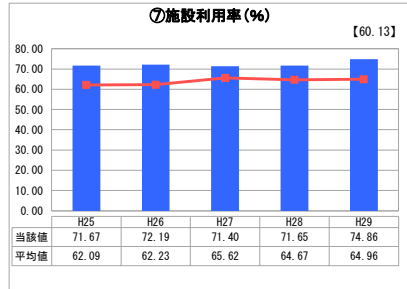
「債務残高」



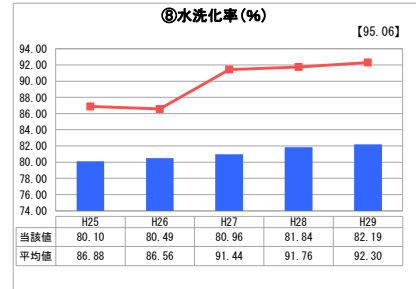
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

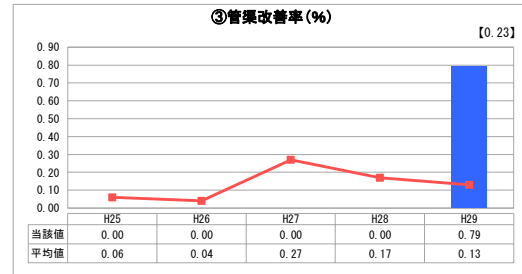
## 2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

平成29年度から維持管理や更新が主体となる事業形態へと転換し、「下水道管路施設長寿命化計画」に基づき平成30年度から土岐津地区の管路更新を実施している。

今後急速に老朽化することが見込まれるため管路・マンホールポンプ・処理場全てにおいて維持管理から改築更新までの全体的な費用の低減や、予防保全型管理の考え方を取り入れ、計画的な維持管理・改築更新を行うことが必要となる。

平成29年度で処理場の更新工事が終了したものの、老朽化による管正や処理場の耐震化等により汚水資本費の増加は避けられず、維持管理費も同様に増加が見込まれるため水洗化促進に取り組み有収水量の増加に努める。

### 2. 老朽化の状況について

平成26年度に策定した「下水道管路施設長寿命化基本計画」で「リスク高」と判定された土岐津地区16kmの内、緊急度の高い約3.5kmについて平成30年度から更新工事を実施している。

平成31年度からは管路に加え、マンホールポンプ・処理場について維持管理から改築更新までの全体的な費用の低減や、予防保全型管理の考え方を取り入れたストックマネジメント計画を策定し、優先度の高い箇所から順次改築・修繕を行っていく。

### 全体総括

施設の老朽化に伴う改築更新費用の増大はもちろん、人口減少や生活様式の変化により処理水量の減少に伴う使用料収入の減少、施設老朽化等による不明水量の増加に伴う処理施設への圧迫が問題となっている。今後は適正な事業計画と財政計画に基づく事業運営を行う必要があり、公営企業会計の適用を行うことにより事業の独立採算性を進め、透明性を高め経営状況を分かりやすく使用者に提供する必要もあります。

引き続き使用料収入の増加を目指し水洗化率向上のための広報活動を行い、業務の効率化とコスト削減を進める必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。